



総合病院精神科の現状
大学病院以外の総合病院における常勤の精神科医は全国的に少なく、残念ながら山口県内でも5、6人しかいません。日本総合病院精神医学会の調査により、当院のように精神科の専門病床を持たない施設の常勤精神科医の60%が1名体制で診療に従事していることが知られています。昨今の緩和ケアや認知症ケアに対する必要性の高まりから全国的には微増していますが、それでもまだ十分な人員が確保できていないのが現状です。

さまざまな精神疾患の

リエン精神医学について
診療をおこなうのは他の精神科医療機関と同じですが、総合病院精神科では体の病気を抱えた方の精神的不調に対して、内科外科などの診療科と密に連携しながら治療を受けやすいというメリットがあります。当科でも通常の外来診療、救急外来での急患対応と並んで、リエン精神医学と呼ばれる他科入院中の患者さんに対する関わりが診療の大きな柱となっています。

・リエン精神医学とは
「リエン(Liaison)」とはフランス語で「連携」や「連絡」を意味する言葉です。「リエン精神医学」は、身体疾患に伴うさまざまな精神疾患や課題にチーム医療で取り組もうとする包括的な治療ケアのことです。

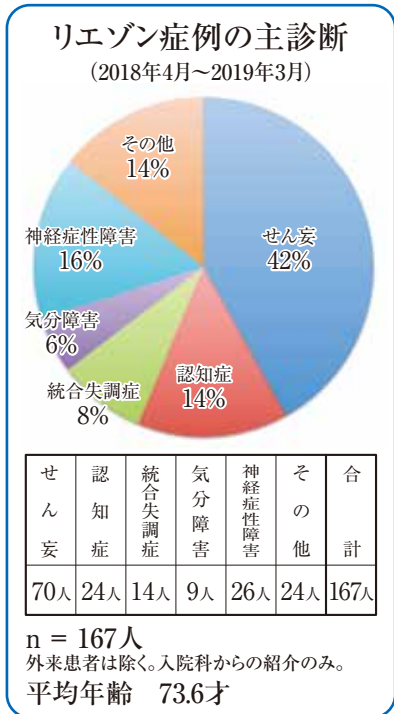


図1 2018年度のリエゾン症例の診療実績

日曜日の朝は「サンデー健康応援講座」(予定)
毎月第4日曜日10:00～11:00 関門医療センター3Fホール
1月26日(日)「生活習慣病について」
管理栄養士 東久保 良美
どなたでもご自由に参加できます

地域医療者のための学習会「関門フォーラム」(予定)
18:30～19:30 関門医療センター3Fホール
1月16日(木)「癌取扱規約勉強会」
病理診断科 村上研修部長
興味のある方はどなたでも参加できます。(事前申込必要)

令和元年健康応援祭〜地域と歩む健康応援病院〜
令和初となる健康応援祭が10月19日土曜日に開催されました。前日の強風と大雨で心配しましたが、当日は秋晴れの中、延べ1200人の皆様にご来場いただきました。
1階では、色とりどりの風船で皆様をお出迎えしました。子供から大人の方にも喜んで頂いた「綿菓子づくり体験」「輪投げ」「塗り絵コーナー」。また、「似顔絵」コーナーのプロの画家さんによる似顔絵は、記念になったと思います。「お医者さん・看護師さんなりきり体験」

では、子供さんに好きな白衣を選んでもらい、お医者さん・看護師さんになりきって写真を撮りお渡ししました。「ばい菌チェック」「BLS講習」「心電図測定コーナー」では実際の機器を使用し体験してもらいました。また今年度は、未来の看護師さんを目指す人のための進路相談コーナーを設置しました。
2階では、毎年大人気の「手作り聴診器コーナー」で多くの方に自作の聴診器で自分の鼓動を聞いてもらいました。初めて聞く自分の心臓の音にびっくりした方もいらしたのではないかと思います。「野菜も食べよう!!」では、実際に1日摂取必要量350gの野菜の量を計測し、日々の食生活を振り返っていただき、「調剤体験」ではラムネを錠剤にみため、お薬が私たちの手元に届く過程を体験していただきました。
3階では、菊舞遊会による楽しい「よさこい」や須恵公民館うたごえクラブの美声による「歌の出前」、当センターボランティアによる「朗読会」、ホクラニによる「フラダンス」で癒しのひとときを過ごすことができました。
また、毎年人気で売り切れ必須の中屋菓子店の「徳地幸福プリン」の販売やファミリーフーズによる「特製カレー」「やきそば」「鶏から揚げ」「ハッシュドポテト」などの美味しい出店も大好評でした。
来ていただいた皆様から、笑顔と温かいお声をいただきました。
今後も関門医療センターは、「健康応援病院」として地域の皆様に元気で豊かな人生を送っていただけるよう取り組んでまいります。

手作り聴診器コーナー

情熱のフラメンコ
イベント
令和元年10月23日(水)
下関フラメンコ同好会によるイベントが開催されました。フラメンコならではの鮮やかな衣装と独特の踊りでご来場の皆様をとても魅了する演技でした。ご来場の皆様は、一人ひとりの衣装やそれぞれの独特のステップといったいろいろな面で楽しむことができたのではないのでしょうか。

鮮やかな衣装と踊りに魅了されました

〒752-8510 下関市長府外浦町1番1号
国立病院機構 関門医療センター
診療受付時間：午前8:30～11:30
午後(各診療科外来にお問い合わせください)
※土曜日・日曜日・祝祭日は休診 ※臨時休診は各外来窓口に表示

★代表 TEL(083)241-1199
FAX(083)241-1301
★地域医療連携室 TEL(083)241-1191(2561-2377)
FAX(083)241-1302
(★透析センター FAX(083)241-1308)
<https://kanmon.hosp.go.jp/>



精神科医長
わかばやし ゆうすけ
若林 祐介

入院された際の精神科的治療の継続、調整です。その他には、身体疾患や薬剤に起因する精神症状への対応、自殺企図で入院された方のケア、がん患者さんの抑うつ症状に対するサポート、アルコール依存症：などなど、対象疾患、病態は多岐にわたります。

当センターでは精神科医と身体科の担当医だけでなく、臨床心理士、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカーなどの多職種で密接な連携をとりながら患者さんの精神的不調・課題に対応しています。

Q 具体的にどんな仕事をしていますか？

臨床検査技師の仕事は大きく分けて検体検査、生体検査の2つがあり、その中でも私は検体検査の中の微生物検査に従事しています。感染症の原因菌を見つけ、どのような薬が効くのかを調べることで抗菌薬の選択がスムーズに行えるようにサポートしています。また、チーム医療としてICU、ASTでは、抗菌薬の適正使用や院内環境整備などの感染対策を多職種で協力して行い、患者さんや職員を感染から守る活動もしています。

Q なぜこの職業を選んだのですか？

中学3年生の時に大好きだった祖母を癌で亡くしたのですが、その時

に何もしてあげられなかったことが悔しく、あの時に出来なかった分、将来は医療職として人のために何かできる仕事がしたいと思いました。

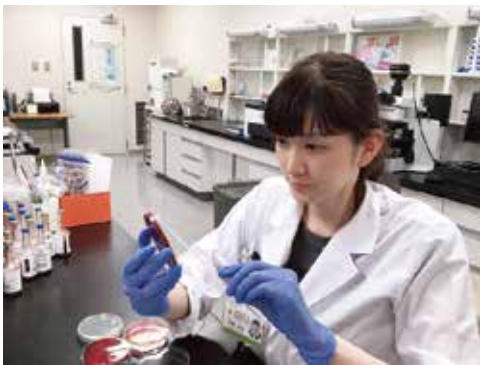
数ある医療職の中で臨床検査技師を選んだ理由は、病気になってからだけでなく、検診などで予防・早期発見という病気になる前にも関わることでできるところに魅力を感じたからです。

Q 今の仕事をするためにどんな資格が必要ですか？

臨床検査技師は国家資格であるため、大学、専門学校または短期大学を卒業後に国家試験に合格して得られる臨床検査技師免許が必要です。

Q 今の仕事をするためにどのような知識が必要ですか？

高校卒業後は岡山の大学へ進学し、大学での専門科目の講義・実習に加え、実際の医療現場で行われる臨地実習と忙しい4年間を過ごしました。4年目は遊ぶ余裕もなく、必死に試験勉強に取り組んだ結果、無事臨床検査技師になることができました。就職先は病院以外にも検査センターや企業など様々な選択肢がありましたが、多くの経験を積めることと臨床に1番近い所で働きたいという思いから国立病院機構を選びました。



今後の課題

悪かった点として、患者さんのために何をするかがよいのかを考える際に、上級医の先生方や2年目の先輩方の意見を聞いてから行動する、つまり受動的に行動していたと反省します。また自分ではしている「つもり」になってしまっていたのではないかと思います。

今後も目標達成に、さらには磨きをかけていきたい所存です。



Q 仕事に就いてからのキャリア形成について

検査結果は診断や治療に関わることから正確であることはもちろん、救急、外来診療では迅速であることも求められます。特に微生物検査は結果が出るまでに時間がかかる検査であり、結果が出たところには治っているなんてこともあります。そのため、検査を出す意味がないと思われないように、結果が出るまでにどれだけ臨床に役に立つ情報を発信できるかということを意識して仕事をしています。

今後は、検査をしてよかったと思われるような結果を出せる信頼された臨床検査技師になれるように、認定資格の取得をしていこうと考えています。



半年たつて成長した部分

今後の課題としては、やはり始めたばかりの栄養指導です。自分が勉強したことを伝えることで精一杯で、患者さんの疑問や不安に答えられていないこともあります。

反省を生かし、少しずつでも患者さんにとってより良い栄養指導が出来るようになっていきたいいなと考えています。

また、来月から献立作成・発注業務も担当することになっており、先輩にご指導頂きながら、自身の出来る業務を広げていきたいです。

特集 新人職員の成長記録

今年の4月より関門医療センターへ入職し日々、壁にぶつかりながらも頑張っている新人職員たち。半年が経過したそれぞれの今の気持ちをご紹介します。



救命救急センター
(E1病棟)
看護師
おかふじ はるか
岡藤 遥

半年たつて成長した部分

半年が経過し、今では少しずつですが自分で考えて行動の受け入れ・検査対応・転棟でき、先輩看護師やリーダー看にも先輩は優先順位を考えているように感じています。また重症患者を受け持つ中で、時間を意識しながらかけや説明を丁寧に行っている姿をととても尊敬しています。

先輩のことがすごい！目指せ先輩

今後の課題

患者さんの立場になって考えられる看護師になるためには、得た情報からアセスメントし、その患者さんの個性を活かした看護ができること、そして入院されている患者さんが安心安全な入院生活が送れる為にも、患者さんの声に耳を傾け笑顔で忘れない看護師を目指していくこと、それが私の課題です。



事務部 外来係
おき しんたろう
沖 慎太郎

半年たつて成長した部分

● 医事にて月次業務の作業がスムーズになったこと ● 高額療養費制度などの医療費に関する制度について理解が深まったこと ● レセプトに関する知識が深まったこと ● 様々な職種の方々とコミュニケーションをとりながら仕事を進めることが出来るようになってきたこと

先輩のことがすごい！目指せ先輩

● 他部署から頼まれた難しい仕事を素早く解決していること ● 自分の仕事を進めつつ部署全体の様子をみながら適切なフォローを入れていること ● 自分の仕事に忙しなくても関わらず私が知らないところで私の仕事を手伝ってくれていること ● 患者さん

今後の課題

徐々に自分の業務に慣れてきたとはいえ、まだまだ日付が間違っていたりするなどケアレスミスが目立ちます。確認作業をこれまで以上に入念にすることで少しでもミスを減らせるよう日々努力していきたいと思っています。

また、少しでも円滑な病院経営ができるよう努めていく所存です。



薬剤師
はますな えりか
濱砂 恵理香

半年たつて成長した部分

● 抗がん剤の無菌調整や、病棟で患者さんに服薬指導をできるようになった

今後の課題

● 当直業務を任せられるようになり、夜間来院された救急外来の患者さんに服薬指導を行っていること

● 医師の処方意図を瞬時に読み取り、患者さんの症状に合った服薬指導をすること ● 患者さんの検査値を把握して、処方されている薬の用法用量が最適かどうか、場合によっては医師に提案し、患者さんにベストな薬物治療について検討すること

先輩のことがすごい！目指せ先輩

多職種から薬についての問い合わせにすぐ回答できなかったり、日々の業務でもまだまだ分からないことがたくさんあります。分からない事は自分で調べるのはもちろん、先輩の先生方に質問することで解決し、学んでいきたいです。そして、学んだことを活かして、患者さんの薬物治療に役立てたいです。



栄養士
にしだ ちひろ
西田 千尋

半年たつて成長した部分

先輩に見守って頂きながらではありますが栄養指導をさせて頂けるようになりました。うまく出来ないことも多くまだまだ勉強が必要ですが、新たなステップへ進むことが出来たと感じています。

先輩のことがすごい！目指せ先輩

今後の課題

日頃の業務を通して感じる知識の広さと深さ、伝える技術にはとても憧れます。

栄養指導を行う上で患者さんの疾患について詳しく知っておく必要がありますが、複数の疾患を抱えている場合も少なくありません。私も幅広い知識や伝える技術が身に付けられるよう、学習する姿勢を持ち続け、これから経験する一つひとつのことに向き合っていきたいと思っています。